

平成27年4月26日執行

佐倉市長選挙公報

佐倉市選挙管理委員会

しがらみのないクリーンな市政を目指して全力投球

<各団体の経歴>

- ・(社)佐倉市観光協会理事
- ・佐倉商工会議所常議員
- ・いんば農業協同組合理事
- ・佐倉市社会福祉協議会福祉委員
- ・(社)成田法人会常任理事
- ・佐倉中央ライオンズクラブ理事
- ～現在～
- ・(財)印旛沼環境基金 理事長
- ・佐倉市、酒々井町清掃組合 管理者
- ・印旛衛生施設管理組合 議会副議長
- ・印旛郡市広域市町村圏事務組合 管理者
- ・佐倉市八街市酒々井町消防組合 管理者
- ・佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合 議会議長
- ・印旛利根川水防組合 議会議員
- ・北総中央用水土地改良区幹事・佐倉市長

<プロフィール>

- ・昭和24年7月佐倉市生まれ(65才)
- ・千葉県立船橋高等学校卒業
- ・早稲田大学商学部卒業
- ・元東京銀行員(外国為替専門銀行)
- ・藤産業株式会社 元代表取締役



利権・恐怖・圧迫・癒着に支配されない公正な行政運営をお約束します!

～子育てしやすく学びやすく老後を過ごしやすい～将来に希望の持てる選ばれるまちづくりを目指します!



無所属

わらび和雄

かずお

65歳

- 安心できる高齢化・少子化時代の福祉の充実
 - ◇高齢者、障害者介護施設の充実及び認知症対策・独居対策
 - ◇高齢者地域支援事業(訪問医療・看護・介護)の充実
 - ◇子育て支援地域システム整備・保育園待機児童の解消
 - ◇中学三年生までの医療費助成継続・小児初期急病診療所維持
 - ◇「健康のまち佐倉」の推進
- 暮らしやすい生活環境の整備
 - ◇大地震、集中豪雨等の災害対策や防犯対策による安心安全のまちづくり
 - ◇地域コミュニティの拠点整備・市街地の再生
 - ◇安全で快適な生活道路の整備
 - ◇市民協働により事業の優先順位選定(行財政改革と市民参画)

●次世代を担う青少年の育成

- ◇小中学校の耐震化及び大規模改修
- ◇「佐倉学」の推進・自校式給食による食育、大学連携、いじめのない学校づくり、大学誘致活動の展開
- ◇文化、芸術、技術、地域経営、防犯などの人材育成

●産業経済の活性化

- ◇企業誘致・起業支援、中小企業支援等による雇用機会の拡大
- ◇印旛沼周辺地域の整備推進、観光振興
- ◇マラソン大会の充実・ACミランサッカー・長嶋茂雄野球教室の推進・スポーツ振興
- ◇東京オリンピック外国選手団キャンプ誘致やシティープロモーション

行政サービスの品質改善

- ◆「(仮称)まち・ひと・しごと佐倉創生本部」の発足…市議員の地域担当制を導入、人口減少対策の専門部署を設置
- ◆市役所に総合窓口を設置…市役所のたらいまわしをなくし、ワンストップサービス化
- ◆市長との昼食懇談会を開催…市民との対話の機会を増やします

きめ細かな福祉の実現

- ◆地域社会全体で市民の健康を支えるための社会環境を整備
[政策事例]「健康」条例の制定、ヘルスプロモーションの導入
- ◆医療支援の強化
[政策事例]がん検診費用の自己負担の減額・不妊治療費助成制度の新設
- ◆高齢者への包括支援
[政策事例]安否確認や地域交流支援・介護予防等の高齢者見守りサービスの強化、在宅医療・看護・介護の推進

もっと見る⇒ www.55nishida.com

行政サービスと福祉の改善

「子育てバウチャー」の導入を

子育てバウチャーとは、一時保育やベビーシッターなど子育てサービスに限定した個人向け補助制度で、「役所が補助金の使い道を決める」仕組みから「利用者が決める」仕組みへの転換です。「選択できる社会」の制度と言えます。利用する側が事業者を選べるので、サービスを提供する事業者間の切磋琢磨により、子育て支援サービスを質・量ともに高める効果をもたらします。

「佐倉版ネウボラ」を構築しよう

Neuvola(ネウボラ)とは、フィンランド語で「アドバイスの場」を意味する支援制度で、福祉先進国のフィンランドでは各地にネウボラという施設があり出産前の健診から子どもが学校に行くまでのすべての相談や支援をしています。ネウボラは子育ての不安な気持ちや悩みを抱え込んでいる皆さんを支え、安心して子育てできるよう支援するための事業です。

子育て支援を本気で強化!

順天堂大学誘致

佐倉市と順天堂大学は175年もの歴史と絆を有する間柄であり、佐倉市へのキャンパス誘致構想が市にもたらすメリットは非常に大きいと確信します。しかし現市長は、大学側からのアプローチを拒否してしましました。結果、現佐倉市政が順天堂との信頼関係を完全に失ってしまったことは大きな失政であり甚だ遺憾です。私は市の将来のため全力で順天堂の佐倉回帰を推進し、3年後の開講を目指します。

躍動する佐倉へ



にしだ

西田ゆずる

西田ゆずる新市長の誕生を!

<私たちも推薦します>

島内憲夫 順天堂大学スポーツ健康科学部 前学部長
小出義雄 佐倉アスリート倶楽部 監督
渡貫博孝 佐倉市前市長

とことん市民目線

- ◆ 昭和50年生まれ。妻、娘二人、愛犬とユーカリが丘在住。 ◆ 熊本附属中学卒業。熊本高校卒業。慶應義塾大学経済学部中退。 ◆ 衆議院公設秘書を経て千葉県議会議員(平成19年～22年)。
- ◆ 衆議院議員(平成24年～26年)。法務委員会理事等を歴任。 ◆ 千葉県バスケットボール協会副会長。

西田ゆずる選挙事務所(京成臼井駅南口)

〒285-0837 千葉県佐倉市王子台4-1-1
TEL.043-460-0180 FAX.043-497-3510

平成27年4月26日執行

佐倉市長選挙公報

佐倉市選挙管理委員会

財政状況が厳しいと言いながら、今の佐倉市政では、志津霊園区間開通(約50億円)・市庁舎改修(約16億円)・志津自然園購入(約6.3億円)など、私たちにほとんど広報(情報公開)されないままに、多額の血税が支出されています。

順天堂誘致計画(約24億円)ご存知ですか？

母として 主婦として 女性として 市民として

ほっとけない!



あなたの夢を叶えるために
あなたの身近な問題を解決するために

宇田みおこ

無所属

宇田みおこプロフィール

佐倉市の行財政を勉強する
「佐倉(さくら)向日葵会(ひまわりかい)」代表

- 1964年上志津生まれ、臼井育ち、母：関 秀(全日本女子柔道会会長柔道六段)、叔父：関 敏(県立佐倉高校ラグビー部)、叔父：関行雄(県立佐倉高校野球部)の実家萩山で幼少期を過ごす。現在は夫(社会福祉法人経営)息子2人と新臼井田在住。趣味：家庭菜園、柔道初段。
- 臼井小、臼井中、県立四街道高、東洋女子短期大学英語英文科卒。
- 米国在住女子世界柔道の母故福田敬子先生十段の元ホームステイ。
- 発展途上国への関心からフィリピンのセントルイス大学合格。同国にてボランティア活動中、同国革命等により志半ばで帰国。
- ODA政府開発援助シンクタンク(財)国際開発センター勤務。ノーベル平和賞受賞ICBL傘下地雷廃絶日本キャンペーンにて愛知万博担当。日本フィツシア佐倉工場勤務等。
- ボランティア活動：被災地支援、小学校での絵本の読み聞かせ他。
- PTA活動：元佐倉小学校広報委員長、元臼井中学校学年役員他。
- 地域活動：現新臼井田自治会役員、印旛沼環境団体会員、地雷廃絶日本キャンペーン会員

佐倉市の主役は市長ではありません、あなたです!

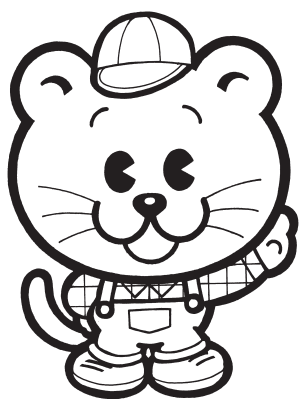
- ①市民税、都市計画税を見直し、市民負担を軽減します。
- ②あなたの暮らしの充実を最優先に考えます。
- ③限りなく透明度の高い、情報公開を徹底した行政を展開します。
- ④市民と寄り添う市役所の実現のため、市長自ら現場主義を率先します。
- ⑤財政再建(目標は経常収支比率90%の実現)のため、まずは市長から、報酬30%減退職金(現行1期4年1590万円)の大幅減額等を実行します。

私が市長になれば、
この佐倉市はあなたの佐倉市になります。

佐倉市で初めての女性市長として、あなたと一緒に話し合いの場を持ちながら、今の佐倉市を、住民提案型の市政運営へ改善して行こうと、市長への立候補を決意いたしました。

皆さまの英知を結集すれば、佐倉市を希望あふれる街に変える手段は必ずあります。恵まれた資質(人材・自然・利便性)を活用して、市民のための佐倉市にします。今までは異なる視点、女性目線、主婦目線、生活者目線から、この佐倉市を住民主役の街に変えてみせます。

詳しい政策は「宇田みおこ公式ホームページ」 <http://udamioko.com/> ブログ佐倉向日葵だよりをご覧ください。
事務所：〒285-0863 佐倉市日井1412-2(ベルショップ2F) TEL&FAX: 043-310-5687 E-mail: mail@udamioko.com



投票日 4月26日(日)

午前7時～午後8時

- ◎投票所には入場整理券をご持参ください。
- ◎入場整理券を紛失されたかた、何らかの手違いで届かなかったかたも、選挙人名簿に登録されており、選挙の当日佐倉市に居住していれば投票できます。
- ◎入場整理券が届いたかたでも、市外に転出したかたは投票できません。

さあ行くぞ 明日につながる この一票

備考：この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により縮小して印刷したものです。